



富士見町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

再生可能エネルギー導入ポテンシャルの推計

問 建設課 環境係 ☎62-9114

考え方

各種再生可能エネルギーのポテンシャル（期待可採量）を調査した結果、**太陽光発電のポテンシャルは再生可能エネルギー由来の発電ポテンシャル全体の約99%を占める**ことから、太陽光発電の利用可能量について推計を実施しました。

森林吸収量・炭素固定量の推計結果

中山間地域に位置する富士見町は総面積の約70%を森林が占めています。この森林資源を有効活用することで林業の発展や地球温暖化対策の両方に寄与します。

太陽光発電の推計結果

太陽光発電の導入ポテンシャル（利用可能量）は約409MWの発電量が見込まれます。屋根置きとなる建物系のポテンシャルは約97MW、野立てで設置する土地系は約312MWと推計しました。また、公共施設への導入ポテンシャルもあり、富士見町が率先的に導入を進めていく必要があります。

このポテンシャルを**最大限活用した場合、排出削減効果は232千t-CO₂**となります。

森林吸収・炭素固定による削減効果

単位：千t-CO₂

	2020年度	2030年度	2040年度	2050年度
①森林吸収量	4.52	9.33	11.73	14.13
②炭素固定量	0.14	1.40	2.02	3.25
①+②	4.66	10.72	13.74	17.37

次回（広報9月号）は、「温室効果ガス排出量削減目標」について紹介します。

～自然環境と共生しながら脱炭素で豊かな暮らしを実現するまち～